

「ロケット広場」に代わる新たな空間の名称決定および 難波駅改良工事の完成、なんばCITY再生リニューアル計画について

南海電鉄と南海グループの南海都市創造では、中期経営計画「堅進126計画」の基本方針である「なんばエリアのさらなる価値向上」を具体化すべく、難波駅改良工事をはじめとした南海ターミナルビルなどの再生計画を現在推進しています。

そして、「ロケット広場」として長年親しまれ、平成19年8月のロケット撤去後は暫定的に「(仮称)ウェルカムロビー」としていた同空間について、名称を「なんばガレリア」と決定し、10月16日(金)にオープンします。

また、同日には難波駅改良工事および「なんばCITY」1期リニューアル工事が完成します。

さらに、なんばCITYの再生リニューアル計画および当社のなんばエリアのさらなる価値向上に向けた取組みについてお知らせいたします。

詳細は次のとおりです。



[1]「ロケット広場」に代わる新たな空間の名称決定について

1. 名称 なんばガレリア NAMBA GALLERIA



(1) 概要

高さ：30m

面積：1,200㎡

意味：「ガレリア」とは、イタリア語で「高い位置にガラスなどの屋根を持つ歩行者空間」の意

(2) 「なんばガレリア」の範囲

旧「ロケット広場」は、なんばCITY地下1階に所在していた広場の名称でしたが、「なんばガレリア」は地下1階から8階までの室内吹抜空間全体を対象に呼称する名称です。

(3) 地下1階旧「ロケット広場」の呼称について

地下1階の旧「ロケット広場」は「ガレリアコート」と名付けました。

2. なんばガレリアの名称に込めた考え方

- (1) 高さ30m、広さ1,200㎡の伸びやかで、広がりのある空間特性をイメージできること。
- (2) ミナミ・なんばの「中心広場」を目指すにふさわしい名前であること。
- (3) 世界・国内からの多くの人々が気軽に利用できる広場・空間を印象づけること。

3. なんばガレリアの目指す方向性

「なんばガレリア」を核に、南海難波駅、なんばCITY、総合インフォメーションセンターなんば、高島屋大阪店、スイスホテル南海大阪などの周辺施設との一体化、協働による取組みを進め、ミナミ・なんばの新名所となるべく、以下の役割を果たしていきたいと考えています。

- (1) 世界へ開かれた玄関口なんばにふさわしい「観光旅行支援拠点」
- (2) ミナミ・なんばの魅力である「街歩き・街遊び」の起点・終点
- (3) 多彩な都市機能が複合し、個性とにぎわいにあふれる広場空間

4. なんばガレリアの活用について

各種イベントを開催するとともに、既存広告媒体、今回新設を含むガラススクリーン、吊物設備などを活用し、情報発信、にぎわい創出、空間演出を図ります。

5. オープニングイベント

(1) なんばガレリアオープニングセレモニー

日 時：平成21年10月16日（金）10時～10時30分

場 所：なんばガレリア内大階段

内 容

- ・オープニング演奏および記念演奏（大阪フィルハーモニー交響楽団による弦楽四重奏）
- ・主催者あいさつ（南海電鉄社長兼COO 亘 信二）
- ・なんばガレリアオープン

ご来賓、主催者代表により、なんばガレリアのおおらかな空間を感じさせる「バルーン（風船）」を浮上させ、オープンを伝えます。

(2) その他

ガレリアコンサート（大阪フィルハーモニー交響楽団による弦楽四重奏など）

期間：10月16日（金）～18日（日） 場所：なんばガレリア地下1階ガレリアコート

ガレリアアート（世界の著名ガレリアの紹介パネル展示）

期間：10月16日（金）～11月23日（祝） 場所：なんばガレリア1階

[2] 難波駅改良工事の完成について

関西国際空港に直結し、大阪ミナミの玄関口でもある難波駅を国際ターミナルとしての品格と機能性を備えた駅に再生するべく、当社では平成19年10月から、同駅の改良工事を実施してきました。

そして今般、同駅の工事が完成し、周辺施設との回遊性の向上や構内店舗の充実、4カ国語サインの整備といった新たな魅力が加わりました。今後はソフト面の充実を目指していきます。



難波駅3階中央に集約された駅務室



4カ国語表記のサイン

1. 南海ターミナルビルの拠点として動線を整備。周辺施設との連携を強化。

(1) 難波駅3階コンコースから、直接高島屋へのアクセスが可能となるエントランスを10月3日（土）に新設しました。また、来春には高島屋と共同で、高島屋新本館計画の増築部分を含み、南海ターミナルビルと日本橋方面の回遊を高める東西通路を新設する予定です。

(2) なんばCITY、なんばパークスなどとの接続向上のため、難波駅2階中央改札口でエスカレーターの移設を行い、新たな「人の流れ」を創出しています。

2. 構内店舗の充実

今回の駅改良工事で窓口の集約などを実施した結果、新たに生まれた空間を利用し、駅全体の構内店舗の面積を約1.5倍に増床しました。これまで工事の進捗とともに新店舗を順次オープンしてきましたが、今般3階部分が完成しました。

(1) MD戦略

3階では高島屋新エントランスが設置されるため、鉄道をご利用のお客さまに加え、高島屋でお買い物途中の女性のお客さまの回遊も期待できることから、「スイーツ」を中心にテイクアウトの品揃えを充実させた店舗を配置。

新たな機能として衣料・雑貨業種である駅ナカタイプの「ユニクロ」を導入。

(2) 3階に完成する構内店舗 15店舗 (は今回の難波駅改良工事完成に伴い3階に新規出店)

オープン予定日 10月15日(木)

	店名	業種	営業時間
	スイーツボックス	週替わりスイーツボックス	11:00～22:00

オープン予定日 10月16日(金)

	店名	業種	営業時間
	ユニクロ	衣料・雑貨	10:00～21:00
	ナスコプリュス(西)	ミニコンビニ	6:30～22:30
	ナスコセレクション	以下6店舗のゾーン名称	
	北 欧	ベーカリー	7:00～22:30
	ヒロタ	シュークリーム	9:00～22:00
	GOKOKU	ロールケーキ	10:00～22:00
	五穀バーム	バームクーヘン	〃
	小豆工房	和菓子	〃
	プレーンノノ	チーズケーキ	〃

オープン済み 6店舗

(3) 3階に完成する構内店舗(15店舗)の売上計画

年間 約22億円(工事前14億円)

3. なんば駅 No.1 計画

お客さまにさらなる「安全・安心」をお届けすることを目的に、「難波駅」を全国ナンバーワンのサービスを誇る駅とするべく「なんば駅 No.1 計画」と名付け種々の施策を展開していきます。今回の改良工事によるハード面の整備だけでなく、ソフト面の充実によって「なんばエリアの価値向上」を図るとともに、鉄道全体のサービスレベル向上への波及を狙い、中期経営計画「堅進126計画」の柱の1つである「提供するサービスの品質向上」を達成します。

《具体的な取組み》

(1) 「接客サービス No.1 の駅」

駅係員全員がお客さまへの「おもてなし」の気持ちを持って、「笑顔で明るくソフトな対応」や「ハートフルでスマートな案内」などの接客サービスを展開し、「接客サービス No.1 の駅」を目指します。

(2) 「美しさ No.1 の駅」

今回の改良工事では、環境に配慮した無水トイレを導入したほかに、周辺商業施設との調和を図るため、駅サービスセンターやトイレといった駅施設のみならず、構内店舗を含めた駅空間のグレードをアップさせました。

これらの施設に対して駅係員を中心にテナントスタッフと一丸となって、一体的な美化活動を実施することで、「美しさ No.1 の駅」を目指します。

[3] なんばCITY再生リニューアル計画について

1. キタ・天王寺エリアとの競合戦略

「なんばCITY」は平成22年に全館開業30周年を迎えます。これまで主に5年周期でリニューアルを実施してきましたが、今回の計画は、単一施設のリニューアルではなく、平成23年から26年にかけて予定されている梅田や天王寺エリアにおける大規模複合施設の開業を踏まえ、高島屋・なんばパークス・なんばCITYを一体の商業ゾーンと捉まえた、「難波地区活性化戦略」の一環として位置づけています。

2. 計画の主眼

「なんばCITY」がなんばパークスや高島屋との共存関係を意識し、両施設を結ぶモールとしての機能アップを図り、またターミナル立地という強みを最大限に活かしつつ、ファッション感度を高めることで、新しい時代にふさわしい「都心型商業施設」に変革すること主眼とします。

3. 計画の概要

(1) 1期リニューアル

高島屋大阪店新本館計画（増築部分）に隣接する本館1階の一部をゾーンリニューアルし、施設環境の刷新を図るとともに、ファッション・飲食店舗を導入します。

(2) 2期リニューアル

南海ターミナルビルおよび周辺施設への回遊性の向上と、20歳代から30歳代前半の都心で働く女性をメインターゲットとした、鮮度・感度の高い店舗構成への刷新を図ります。

なんばCITY再生リニューアル計画について

	1 期	2 期
オープン時期	平成21年10月16日(金)	平成23年4月(予定)
リニューアルの目的	(1)基幹動線の整備による回遊性の向上 <1期> 1階東西通路新設 吹き抜け新設(2階 地下1階)・エスカレーター移設(2階 1階) <2期> 地下1階南北基幹動線整備 吹き抜け新設およびエスカレーター移設(1階 地下2階)・ エスカレーター移設(地下1階 地下2階) (2)鮮度・感度の高い店舗構成による売上拡大	
対象区域	本館1階・地下2階の一部	本館1階・地下1階・地下2階の一部
対象店舗数(リニューアル後)	24店舗	約60店舗
対象面積	約4,400㎡	約12,000㎡(予定)
工事期間	平成21年3月～10月	平成22年7月～23年4月
総投資額	約11億円	約36億円(予定)
全館売上目標(完了後)		約350億円(平成20年度実績305億円)

1期ゾーンの出店テナントは別紙をご参照ください



2期工事によってリニューアルする「なんばCITY」本館地下1階

[4]なんばエリアのさらなる価値向上に向けた取組みについて

1. これまでの取組み

中期経営計画「堅進126計画」に掲げる基本方針「なんばエリアのさらなる価値向上」に基づき、なんばエリアを最重要拠点として位置づけ、10年後(平成29年)を見据えて、計画達成に向け各種施策を実行しています。

平成20年

6.27 「難波街づくり推進室」組織新設

(12.4 「ミナミまち育てネットワーク」設立(会長：山中諄 当社取締役会長兼CEO))

平成21年

2.4 難波駅に「難波駅サービスセンター」、「トランスアテンダント」誕生

2.27 南海ビル外壁の難波駅名および旅客案内用大型サインボードを一新
サービスアパートメント「フレイザーレジデンス南海大阪(仮称)」着工

(3.20 阪神なんば線開業)

3.31 難波駅のサインを4カ国語(日本語、英語、韓国語、中国語)表記に

4.1 まち歩きマップ「なんばけーしょんMAP」創刊

4.25 大阪市と初の官民共同「総合インフォメーションセンターなんば」開設

7.23 環境に配慮した空調「ドライミスト」設置

9.16 南海ビル外壁美装化工事完成、ライトアップ開始

10.1 南海ターミナルビル内の公共誘導サインを4ヶ国語表記に

10.10 南海ターミナルビル内に4ヶ国語表記の「なんば周辺マップ」を設置

10.16 なんばガレリア誕生

難波駅改良工事完成

なんばCITY再生リニューアルオープン(第1期)

2. 今後の取組み

平成22年春

高島屋大阪店新本館計画 第1期(増築部分)オープン

なんばパークスリニューアルオープン

平成22年秋

サービスアパートメント「フレイザーレジデンス南海大阪(仮称)」開業

平成23年春

高島屋大阪店新本館グランドオープン

なんばCITY再生リニューアルオープン(第2期)

3. 中長期的取組み

建築後50年以上が経過し、現在南海電鉄本社等が入居する「南海会館ビル」建て替えの検討を進めるなど、街の歴史・個性を重んじながら、継続的に活性化し、なんばエリアのさらなる価値向上に努めてまいります。

以上

別紙

なんばCITY 1期リニューアル出店テナント

	店名	業種
	シェーカーズ カフェ ラウンジ+SOZ	カフェ・レストラン
	バケット	ベーカリーレストラン
	まかない包丁	和食ダイニング
	粹・焼肉 鶴兆 ~ Old castle ~	焼肉
	銀座アスター 難波賓館	中華料理
	パティスリー ブラザーズ	洋菓子
	キキ	バッグ
	ピアッジョブルー	婦人服
	ドリー	婦人服
	ジェリービーンズ	シューズ
	レイジースーザン	服飾雑貨
	ルウデルウ	婦人服
	クリアインプレッション	婦人服
	ディアプリンセス	婦人服
	エッセンシャルグッズ	服飾雑貨
	ガーランドオブデュー	服飾雑貨
	セサビー	服飾雑貨
	エクリュフィル	婦人服
	クレイサス	婦人服
	アンジェルー	インナー
	ローザ バイ ナラカミーチェ	婦人服
	バジェットブルジョアビューティー	服飾雑貨
	レモンツリー	アクセサリー
	ザ・スーパースーツストア	紳士服・婦人服

は今回のリニューアルに伴い新規出店